

【 庁 議 記 録 】

- 1 日 時 平成30年11月20日（火）午前8時56分～午前9時11分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 市長 副市長 教育長 参与(兼)児童青少年部長
 企画財政部長 総務部長 市民生活部長 福祉保健部長
 環境部長 都市建設部長 議会事務局長 教育部長
幹 事 政策室長
- 4 欠席者
- 5 会議結果

市 長 これより庁議を開催します。報告事項1「全国瞬時警報システムに関する全国一斉自動放送等試験の実施について」の報告をお願いします。

部 長 4月24日の庁議で報告したとおり、平成30年度は全国瞬時警報システム訓練に伴う情報伝達訓練を4回行うこととしており、第3回は11月21日午前11時頃に実施します。

 周知は、市ホームページ及びこまえ安心安全情報メール等で行います。また、訓練当日は職員向けにJ-ALERTメールを配信するため、メールを受信できなかった場合は、安心安全課へご連絡ください。

市 長 報告を了承とします。続いて報告事項2「狛江市立保育園の民営化に関する検証報告書について」を報告してください。

参 与 本報告書は、平成25年に狛江市立保育園民営化の指針が策定されて以降、28年に市で初めて宮前保育園が民営化され、次いで29年に和泉保育園が民営化されてから1年が経過した段階で、公立保育園の民営化に関する一連の取組みについて振り返り、検証を行ったものです。

 委員会開催状況及び委員名簿については、報告書巻末に記載のとおりです。また、11月12日に正副委員長から市長への報告を行っていただきました。

 今回の検証では、2園が民営化された際の在園児の保護者2人に委員として参加いただき、当時の保護者の視点や受け止め方等、民営化のプロセスについて意見をいただきました。

 報告書1ページには、要旨として各章の内容が記載されています。

 2ページからの第1章には、冒頭で検証の視点が記載されています。また、民営化の経緯と目的について、時系列で整理されています。

 5ページからの第2章には、検証の目的と方法が記載されています。

 7ページからの第3章には、民営化のプロセスの検証として、市による民営化の決定や公表の流れ、また、その内容や具体的な手続き等についての振

り返りが記載されています。9ページからは、民営化の計画に対する保護者の理解について記載されており、市としては、説明会やパブリックコメント等一定の市民参加手続きを踏み、民営化を進めたところですが、在園児の保護者の中には、民営化について詳しい内容を知らない方も多かったことから、狛江市後期基本計画や狛江市第5次行財政改革推進計画【定員適正化編】における民営化に関する考え方や民営化の可能性等について、在園児の保護者や入園希望者に対し情報共有する等、保護者の理解を深めるための努力が必要であったとされています。12ページの「(6) 保護者の意見の取込み」では、民営化ガイドラインや法人公募要項等で、細部にわたり保護者の意見が取り込まれたと記載されています。17・18ページには、運営法人の選定について記載されており、平成18年の市民福祉推進委員会からの答申を尊重し、公募対象を社会福祉法人のみとしたこともあり、結果として応募件数が少なくなったものの、保護者からの株式会社を選定対象とすべきではないかという意見に対して、一定の議論がなされたことについて評価されています。20ページからの「3. 仮園舎移転と引継保育の実施」には、引継期間や職員配置は適切であったものの、原則として従来の公立保育園の保育を引き継ぐとした点が制約となった部分もあったため、引き継ぐべき内容を具体的に明らかにして進めることが今後の課題であると記載されています。

33ページからの第4章には、民営化の効果測定として、新旧比較による保育サービスの多様化や充実の状況が記載されており、効率的な行財政運営のために、民営化前後の児童1人あたりの運営費や施設整備に対する経費を比較した上で、財政負担を抑制したことにより、認証保育所における保護者の負担軽減や私立幼稚園家庭への補助、その他新たな補助メニューの創設等、市の子育て環境の充実に繋がったことについて評価されています。一方で、財源活用等について、積極的かつ継続的に情報発信することが望ましいとされています。

48ページからの第5章には、民営化の総括として、プロセスと成果についての評価が記載されており、49ページでは、近年の待機児の状況や保育園の施設整備等を踏まえた上で、時機を捉えて民営化を進めた結果、保育サービスの充実と待機児解消に貢献したと記載されています。また、51・52ページでは、今後の市の保育行政のあり方について触れられています。

今回の検証では、狛江市立保育園民営化の指針にも示されているとおり、民営化手続きの終了後、検証を踏まえて残る公立保育園4園のあり方について検討することとされていたため、報告書の取りまとめに当たっては、今後の公立保育園のあり方を考えるための基礎資料となるよう、当初から議論が進められてきました。

今後の民営化の考え方を含めた将来的な公立保育園のあり方については、これまでの待機児対策の取組みや保育需要の変化といった市を取り巻く保育環境の変化の他、効率的な行財政運営等も踏まえて、市として考え方を示していくこととなります。

市長への報告が終了したことにより、本委員会は終了となりましたが、報告書にも記載されているように、保育の質の向上や子育てしやすい環境づくりのためにも、民営化された2園に対しては、今後も引き続き関わりを持ち、支えていくことが市の責務となると考えます。

市長 本件について、質問等ありますか。

部長 19 ページの「(4) プロポーザル方式の妥当性」において、「また、公立保育園の民営化にあたり、市は積極的なPRを行わず、HPで公表したのみであったことは公募活動不足と言えるだろう。他の自治体でも見られるように、近隣区市では保育園を運営する社会福祉法人に文書を送ったり、事前の需要調査を行ったりしていることを考えると、より積極的な公募活動ができると良かった。」と記載されていることについて、意見としては受け止めますが、実際には、和泉保育園の運営業者の公募に当たり、担当者が近隣の社会福祉法人に100通ほど照会文書を送った他、いくつかの法人に公募について問い合わせを行っているため、事実確認をした上で、記載内容の修正をお願いしたいと思います。

参与 全委員の承諾が必要となりますが、事実確認をした上で修正することは可能であると考えます。

市長 対応をお願いします。

副市長 本報告書では、厳しい意見もいただいているところですが、短い期間でこれだけの報告書をまとめていただいた委員の皆様及び事務局の職員に感謝申し上げます。

市長 その他お知らせはありますか。

部長 平成31年狛江市消防団出初式の開始時間の変更についてです。

11月6日の庁議の報告事項1「当面の行事日程について」の中で報告した平成31年狛江市消防団出初式の開始時間について、調布市の木遣りの出場が加わったことにより、当初の午前10時30分から午前10時に変更となりました。

市長 議会への報告もお願いします。

その他何かありますか。

部長 第42回狛江市民まつりの実施結果についてです。

11月18日に開催された第42回狛江市民まつりは、主催者発表で約7万4,000人もの方に来場いただき、大変盛況のうちに終わることができました。

今回は、パレードの警備対応において例年以上に多数の職員に協力をいただいたこともあり、大きな事故等なく無事終了することができました。協力いただいた関係部署職員及び応援職員の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

副市長 応援職員におかれましては、パレード警備に協力いただき、ありがとうございました。

市長 久しぶりに粕江市民まつりに参加しましたが、以前と変わりなく盛大で良かったです。対応いただいた職員や関係者の皆様によろしくお伝えください。その他何かありますか。

部長 イルミネーションの実施についてです。

本事業は、平成30年度で4度目の開催となります。

イルミネーションは、市役所前市民ひろばの中央にあるけやきの木及び正門付近の植栽に装飾します。実施期間は11月21日から平成31年2月28日まで、点灯時間は午後5時から午後11時までとし、自動で点灯・消灯する仕組みとなっています。なお、実施期間中においては、正門は午後10時30分に閉門します。

また、11月21日午後4時20分から点灯式を開催し、豚汁を先着100人に無料配布します。見学可能な職員は、ぜひご参加ください。

市長 他にないようなので、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、11月27日午後4時から開催します。